

第8回つながるスマイルプロジェクト

物価高騰の今こそ、 フードバンクで支えあおう アンケート調査 報告書

2022年11月

認定 NPO 法人フードバンク山梨



この調査は「中核的フードバンクによる地域包括
支援体制事業」の助成を受けています



I. 背景と今後

認定 NPO 法人フードバンク山梨
理事長 米山 けい子

2022 年現在、これまでも厳しい生活を余儀なくされた世帯に、コロナ禍が終息しないまま、ウクライナ侵攻による物価高が二重苦となり、更なる追い打ちをかけている。

今回の調査は、2022 年 9 月に実施した当法人からの定期的な食料支援を受けていない就学援助・児童扶養手当の受給、総合支援資金の借入などの世帯を対象としている。その為、申請書配布先は県内の行政・社協、ハローワーク、大学、地域フードバンク団体など、当事者が申請機会を失わないように、可能な限り多彩な機関との連携を図った。

調査から、生活困窮は物価高騰の影響をうけた世帯が 4 分の 1 であったことが明らかになり、その結果が影響したと思われ、申請者数は過去最高の 290 世帯となった。

また、ガソリンの高騰は、地方特有の生活に欠かせない自動車の保有台数が多いという状況を反映して、家庭を直撃していることも見落とせない。

学生の回答数が少なく、アンケート結果には反映されなかったが、申請した 290 世帯の中で、学生がおよそ 3 分の 1 (100 人) を占めている事も見逃すことはできない。物価高騰の影響は、学生の学業と生活に暗い影を落としている。

調査結果を受けて今後の活動

- ① 長引くコロナ禍や物価高で生活困窮する方々の増加と困窮内容の深刻さに目を向け、継続的な食料支援を実施していく。
(調査では1ヶ月の食費が3万円未満の世帯が39%であった。今回の配布で金額換算するとおよそ8000円~1万円分の食品を提供。)
浮いたお金で生活の改善に繋がる事を期待したい。
- ② 11月には乳幼児のいる約200世帯、12月には、子どものいる世帯900世帯と物価高騰の影響を受けた約300世帯への緊急食料支援を実施する予定である。
- ③ 特にこれまで見過ごされてきた大学生への支援を、大学等との連携を強め迅速な対応をしたい。
- ④ 新たな「山梨フードバンクセンター」が12月から稼働する事で、山梨県全域でどの地域に暮らしていても、生活が苦しければ食料支援が受けられる体制づくりを促進していく。



Ⅱ. 考察

立教大学 コミュニティ福祉学部
准教授 川村 岳人

今回、認定 NPO 法人フードバンク山梨が実施した「第 8 回つながるスマイルプロジェクト」調査は、対象者の大半が少なくともその時点では公的サービスにつながっていない人を多く含んでおり、ともすると公的機関からは見えにくい人びとの生活実態を明らかにした点で貴重な調査といえる。また、コロナ禍と物価高騰が重なるところで立ちあらわれている生活困難を、当事者の視点から明らかにしたことにも大きな意義が認められる。なお、私は調査の設計段階から関わったわけではないため、結果を分析するには少なからず限界があるが、差しあたり特に重要と思われる調査結果をいくつか挙げてみたい。

まず、回答者の中に正規雇用の人が 16%と一定数含まれていることである。回答者の中には学生(30%)や専業主婦(6%)が含まれているため、就労している者全体に占める正規雇用の割合はより高いことになる。一般に、ワーキングプアの問題は非正規雇用と結びつけて語られることが多く、正規雇用の場合は生活困窮に陥るリスクが相対的に低いとされる。しかしながら本調査の結果は、コロナ禍に物価高騰が重なる状況においては、正規雇用の仕事に就いていても経済的に困窮する場合がありますを示すものといえよう。

第二に挙げられるのは、コロナ禍以前から困窮していた人は 32%と約 3 分の 1 に過ぎないことである。つまり、コロナ禍前から困窮しがちだった人がコロナ禍で依然として厳しい状況に置かれている場合もあるが、コロナ禍前は大きな問題が生じていなかったものの、コロナ禍や物価高騰によって困窮に陥った場合もあり、しかも後者の割合の方が高いということになる。こうした結果を踏まえると、現在はなんとか持ちこたえている世帯であっても、今後コロナ禍や物価高騰が長期化すれば、生活が立ちゆかなくなる世帯がさらにも出現することも十分に考えられる。

第三に、物価の高騰が家庭を直撃するなか、特に生活に影響を及ぼしているものとして光熱費やガソリンを挙げる人が多かったことである。物価の高騰というと、食料品の値上げがイメージされやすいが、本調査の結果はむしろガス料金(115名)やガソリン(75名)の高騰が生活により大きな影響を及ぼしていることを示唆している。特に山梨県のような「車社会」では、後者の影響を無視することはできないだろう。こうした地域では、自動車は通勤・通学など日常生活の足として欠かせず、これに代わる移動手段が乏しい場合も少なくないからである。このように日常的に自動車を使用する状況では、ガソリンの消費量を抑制するために工夫できる余地はほとんどなく、価格が高騰してもガソリンを購入し続けるよりほかない。その意味で、ガソリン価格の高騰は、地方都市の市民生活に多大な影響を及ぼし得るのであり、次に述べるように食費を切り詰めざるを得ない一因にもなると考えられる。



第四に、1人あたりの食費が384円/日と、かなり少額でやり繰りをしている回答者が約4割にもものぼることである。こうして食費を切り詰めるための方法の一つが、食事の質を落とすことであるが、実際に回答者の8割以上の方が節約のために食事の内容を変えていた。なかには「炭水化物だけの食事が増えた」など、栄養バランスを犠牲にしても食費を抑制している者もみられた。先に述べたガソリンなどに比べると、食費は節約するための余地がある分、生活困窮に陥った際は真っ先に抑制されやすいともいえる。しかし、当然のことながら、栄養が不十分な食事を重ねれば重ねるほど、健康面に好ましくない影響が及ぶことが懸念される。



Ⅲ. 調査結果の要点

調査世帯数 290 回収数 115 回収率 39%

1. 現在の家族構成 P.9

・ひとり親世帯が 53%と半数を超えた。

2-1. 同居の家族数(回答者含む数、回答数 115) P.9

・1人(33%)、2人(16%)、3人(23%)、4人以上(28%)

2-2. 雇用形態(回答数 96) P.10

・「正規雇用」は 16%であった。正規雇用以外の利用者が 84%を占めた。
・「非正規雇用」28%、学生 30%、自営業と専業主婦は6%であった。

3. 生活が苦しくなった時期(回答数 116) P.10

・コロナ禍以降が 65%だった。
・コロナ禍以前から困窮している世帯が 32%、コロナ禍で困窮した世帯が40%、2021年10月以降の物価高騰により困窮した世帯が 25%であった。

4. ここ 3 か月の平均で、1 か月間の世帯収入金額(手取り額)(回答数 114) P.11

・5万円未満が 19%、5~10万円未満が 25%、10~15万円未満が 20%であった。
・合わせて、44%が月収10万未満であった。

5. 2021年10月以降の食品や生活必需品などが値上がり。値上がりしている物の中で、回答者の生活に影響している物は何か(重複回答、回答数 978) P.12

食品(回答数 576)

・40人以上の回答は、お米(58人)、野菜(50人)、食用油(48人)食パン(44人)、牛乳(42人)であった。

食品以外(回答数 402)

・食品以外の値上がりについて 回答者の 80%がガス料金・ガソリン代・電気代・水道料金を選択。
・ガス料金(115人)、ガソリン代(75人)、電気代(71人)、水道料金(63人)、トイレトペーパー(67人)。



6. ここ3か月の平均で、39%が月3万円未満の食費=1日千円以下で生活(回答数107) P.13

※平均世帯人数(2.6人)で割ると、一人・一日当たり384円以下。

・1万円未満(4人)、1万円~2万円未満(15人)、2万円~3万円未満(23人)、3万円~4万円未満(25人)、4万円~5万円未満(26人)、5万円~6万円未満(4人)、6万円以上(10人)

コロナ禍での物価高騰

7-1. ここ3か月間、節約のために余儀なくされていること P.15

92%が食費を削る、36%が食事の回数を減らす、54%が1回あたりの食事の量を減らしている

・「子供には食べさせているが自分は回数を減らしている」

7-4. ここ3か月間、節約のため 86%が食事の内容を変えた(回答数104) P.15

・半数がおかずを減少。

・「お米の量を減らし、お茶づけの日が増えた。」

・「炭水化物だけの食事が増えた」(15人)、「おかずが減った」(52人)、「インスタント食品が増えた」(23人)、「変わらない」(10人)、「その他」(4人)

8. 自由記述から抜粋(本文をそのまま引用) P.16

・コロナ禍で保育園が休園になり仕事を休まなきゃいけなくなり、収入がへってしまうこと。

・物価高騰で生活が大変です。

・仕事の継続と日常生活費、大学までの子供の教育費

・食べ物を買うのも値上がりしていて買うのをためらうことが増えてしまった。

・米を使う量が減った

・食品は値下げ商品を見つけて購入しているが、賞味期限がその日限りだったり日持ちできない。

・野菜の価格が高くなって買う回数が減り、野菜不足の心配が増えました。

食品以外

・学校(中学生)指定のものがあり、金額もそれなりにするのでお下がりがあればいいです。

・生活用品のストックが出来ない。

・洗剤なども絶対必要なので高くて困ってます。



- ・食料も必要だがトイレtpペーパーや洗剤なども高くなり困る
- ・ティッシュやトイレtpペーパーの消耗品も高騰しているのご支援いただけると嬉しいです。
- ・ガソリン等の値上げによりどこかに出かける事が少なくなった
- ・いろんな物や料金が高くなり、食を減らすなどが困る。ガソリンなども入れたいが入れられない。
- ・高校生はお弁当も持って行くので、かなり食費がかかりますし、女の子なので毎月のナプキン代もかさみ大変です。住民税を年間 10,300 円払うだけで、コロナ特別給付にも該当しなくて大変です。
- ・子供は食べ盛りなので自分の分を減らしたりしてます。
- ・お肉など、きっと成長期には満たされない量のおかずになったり、野菜を我慢したり。お米の減りが早い、生理用品もかかるので、前回お米と生理用品はとても助かりました。

学生の声

- ・大学での学費が免除にならず、生活が苦しい。
- ・コロナ禍前から収入が減っていたのですが、コロナの影響で更に生活状況が苦しいです。また、大学の実習が始まり、その期間中はアルバイトも禁止となるのでアルバイト収入が半年得られなくなるので、今後の生活が更に不安です。
- ・研究を行いたいが、お金の問題でアルバイトを多く入らないといけなく、満足な研究が行えていない。



IV. 調査概要

1. 調査の目的

本調査はコロナ禍における物価高騰による、生活状況や食生活への調査を実施し、困窮世帯に対して的確な支援策を検討する為に、必要なニーズと課題を把握することを目的としている。

2. 調査について

① 調査対象

- ・当法人と地域フードバンク 7 団体が 2022 年 9 月 17 日～21 日に行った「第 8 回つながるスマイルプロジェクト」で支援を受けた 290 世帯

配布会場	支援世帯数
地域総合子ども家庭支援センター・テラ（甲府市）	39
NPO 法人子どもサポートやまなし（甲府市）	45
よりそい北杜（北杜市）	9
特例認定 NPO 法人富士の緑とフードサポート（富士吉田市）	68
協力団体ふじざくら（河口湖町）	39
NPO 法人ぐんないや-織 syoku-（都留市）	46
NPO 法人にららん♪（韮崎市）	20
認定 NPO 法人フードバンク山梨（南アルプス市）	24

② 調査方法と回収状況

食品と共に QR コード付きの「アンケート調査票」を会場ごとに配布。その QR コードをスマートフォンで読み取り、Google フォームにより回答。又は会場においてアンケート票に記入。

③ 調査期間

2022 年 9 月 17 日～2022 年 10 月 1 日

④ 回収状況

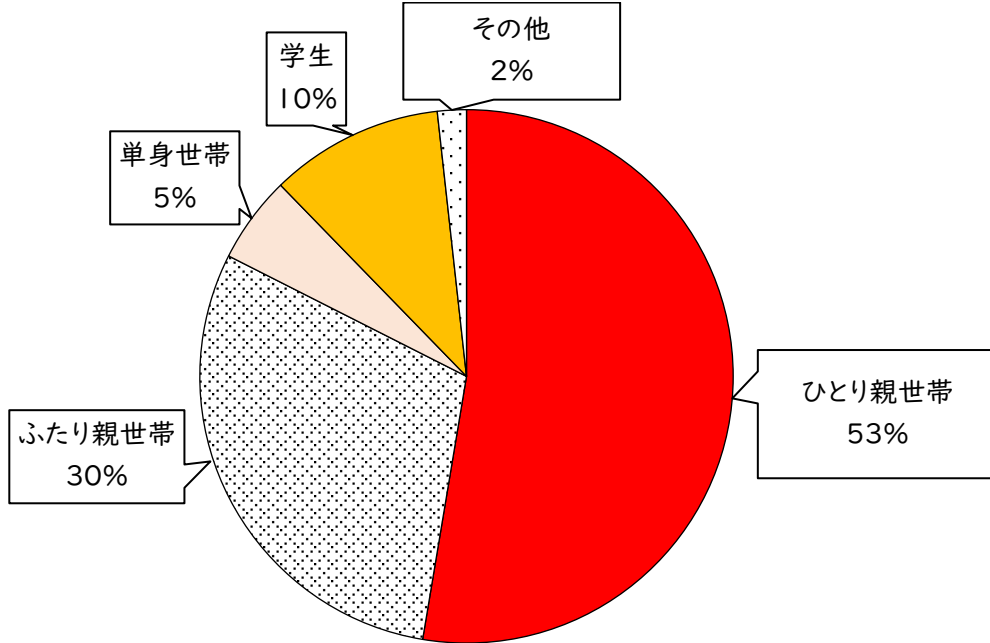
調査世帯数 290 回収数 115 回収率 39%

回収内訳：会場で記入 70、QR コード入力数 45。

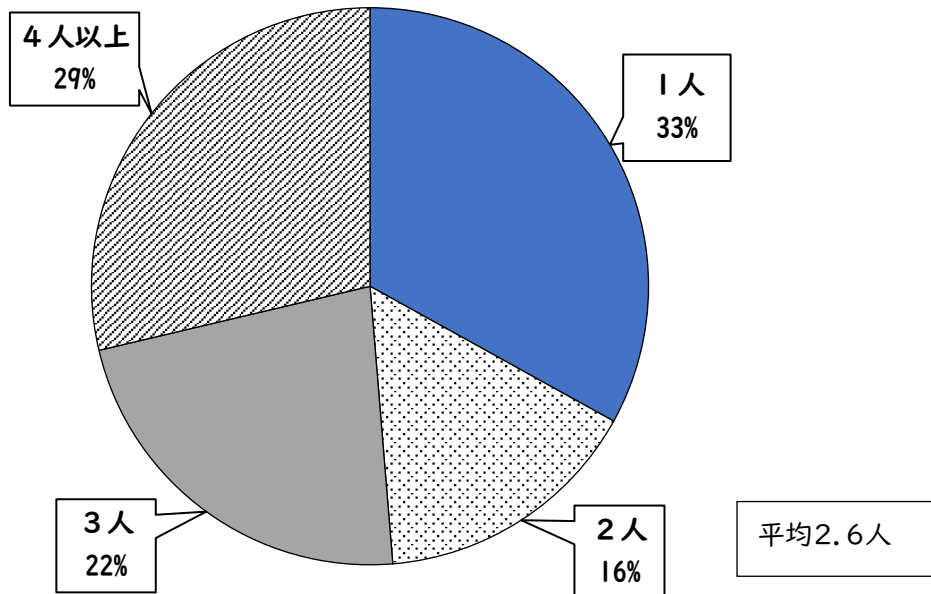


V. 調査結果

1. 現在の家族構成(回答数 114)

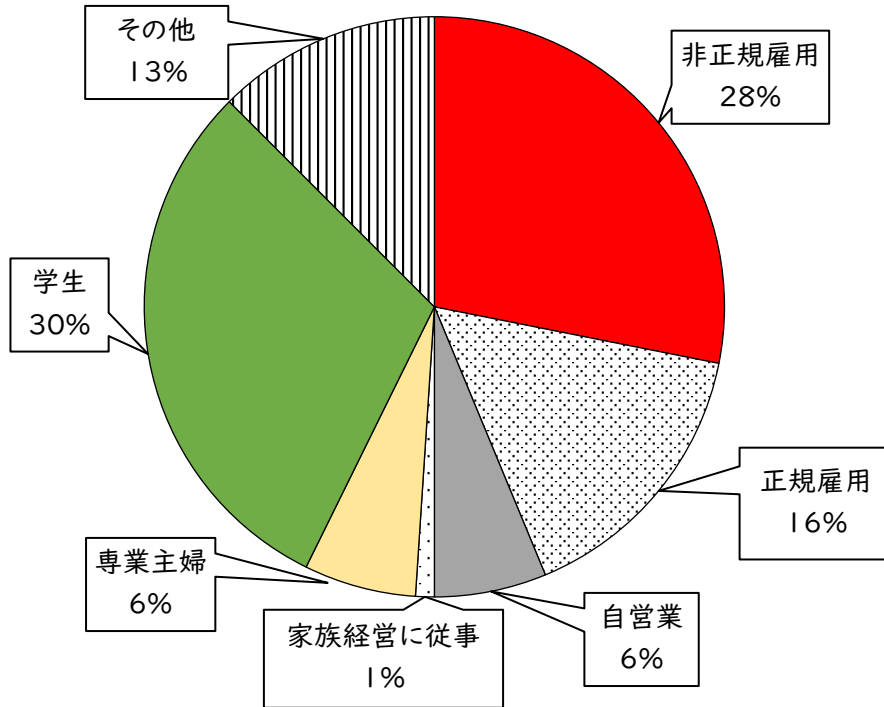


2-1. 同居の家族数(回答者含む数、回答数 115)



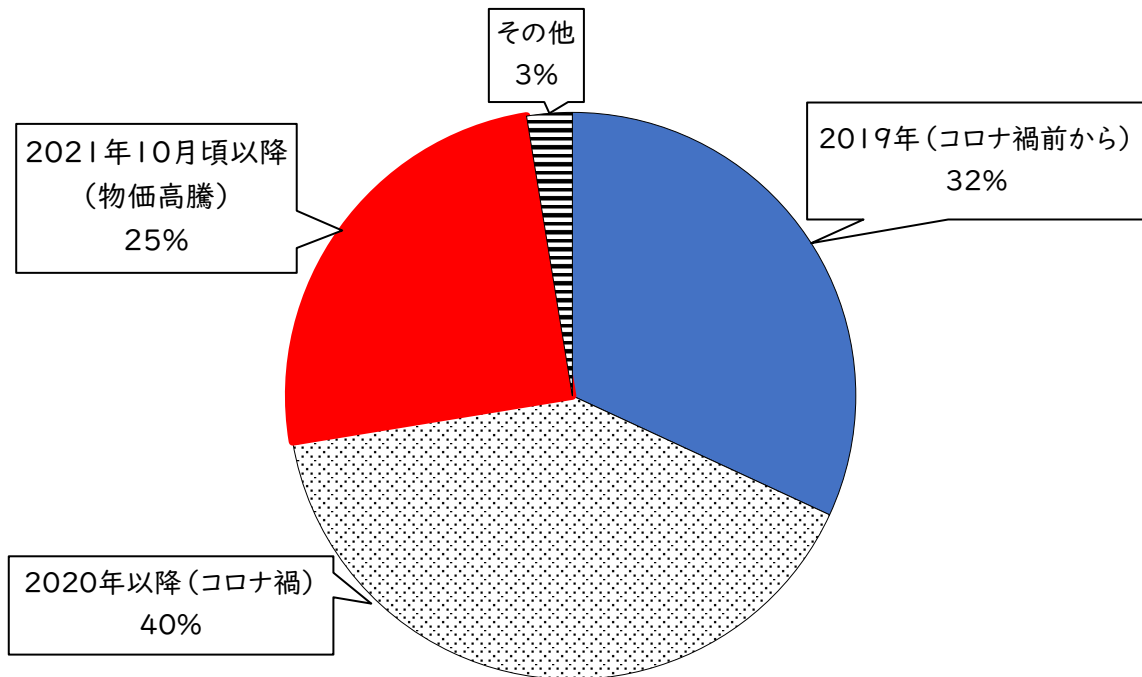


2-2. 雇用形態(回答数 96)



3. 生活が苦しくなった時期(回答数 116)

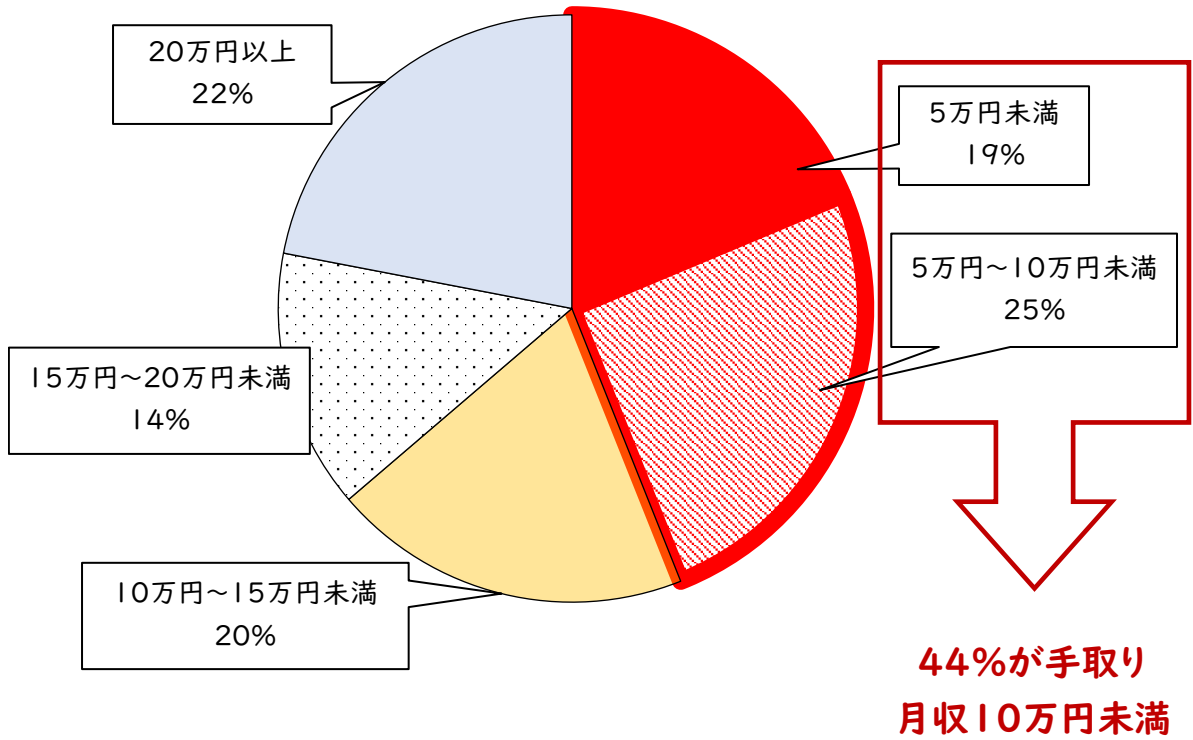
今回支援を受けた 290 世帯のうち過半数(65%)がコロナ禍以降、また4分の1が1年前からの物価高騰で生活困窮者になっている。





4. ここ3か月の平均で、1か月間の世帯収入金額（手取り額）（回答数114）

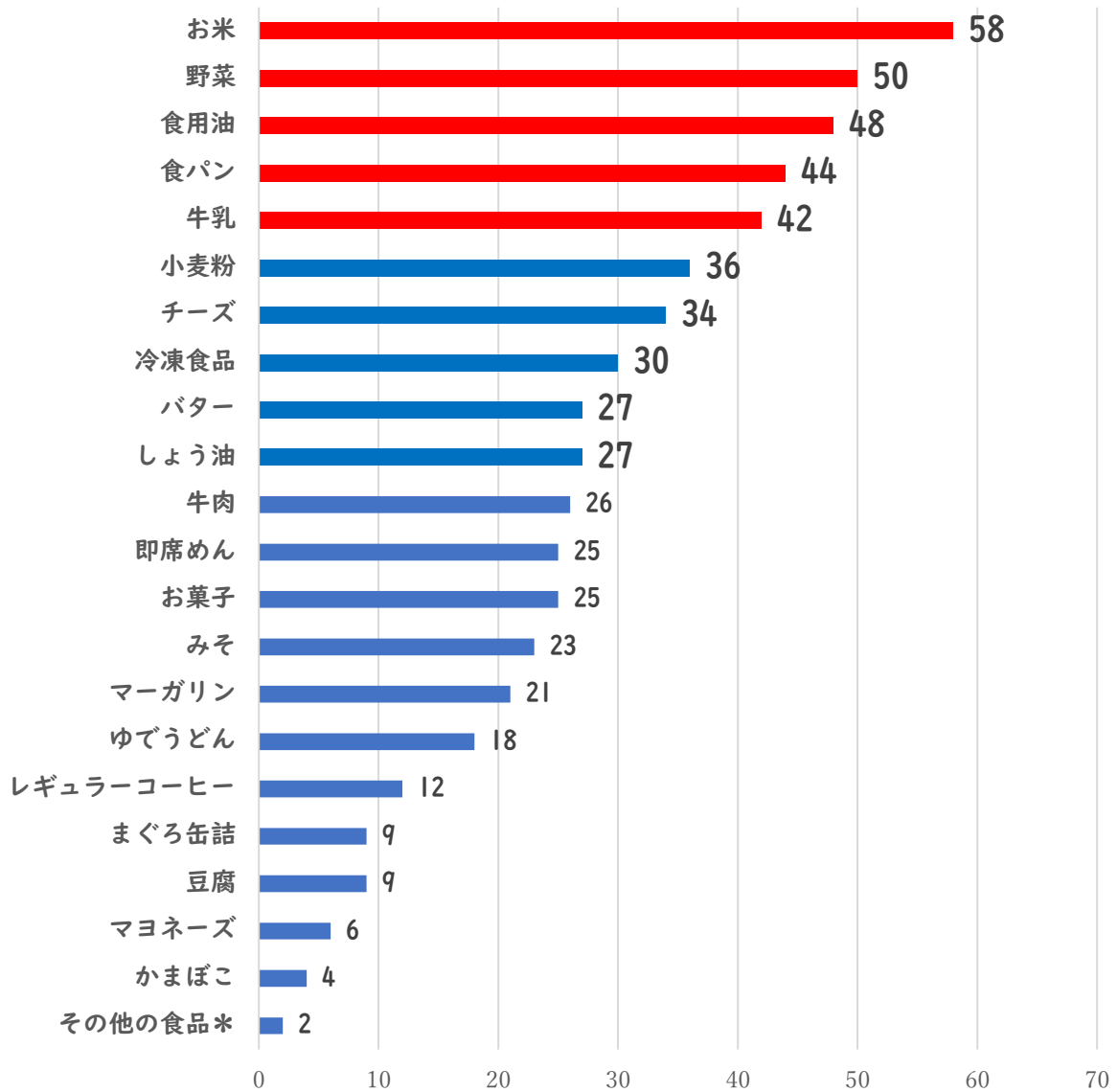
44%が手取り月収10万未満。遺族年金のみもあった。





5. 2021 年 10 月以降の食品や生活必需品などが値上がり。値上がりしている物の中で、回答者の生活に影響している物は何か（重複回答、回答数 978）

食品（回答数 576）



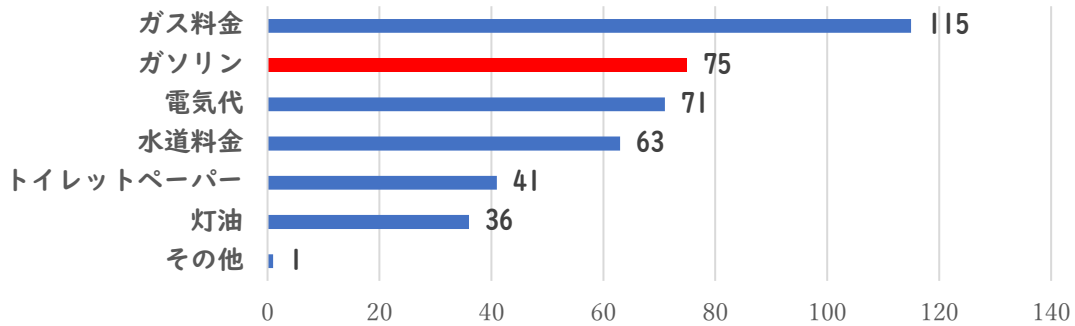
*その他の食品として「コンビニの食品」

・上位の回答は、お米（58人）、野菜（50人）、食用油（48人）食パン（44人）、牛乳（42人）であった。2021 年末の調査でも、ほぼ同じ品目の値上がりが特に生活に影響を及ぼしていた。

*2021 年 12 月調査：お米（83人）、野菜（79人）、食パン（75人）、食用油（72人）の順。



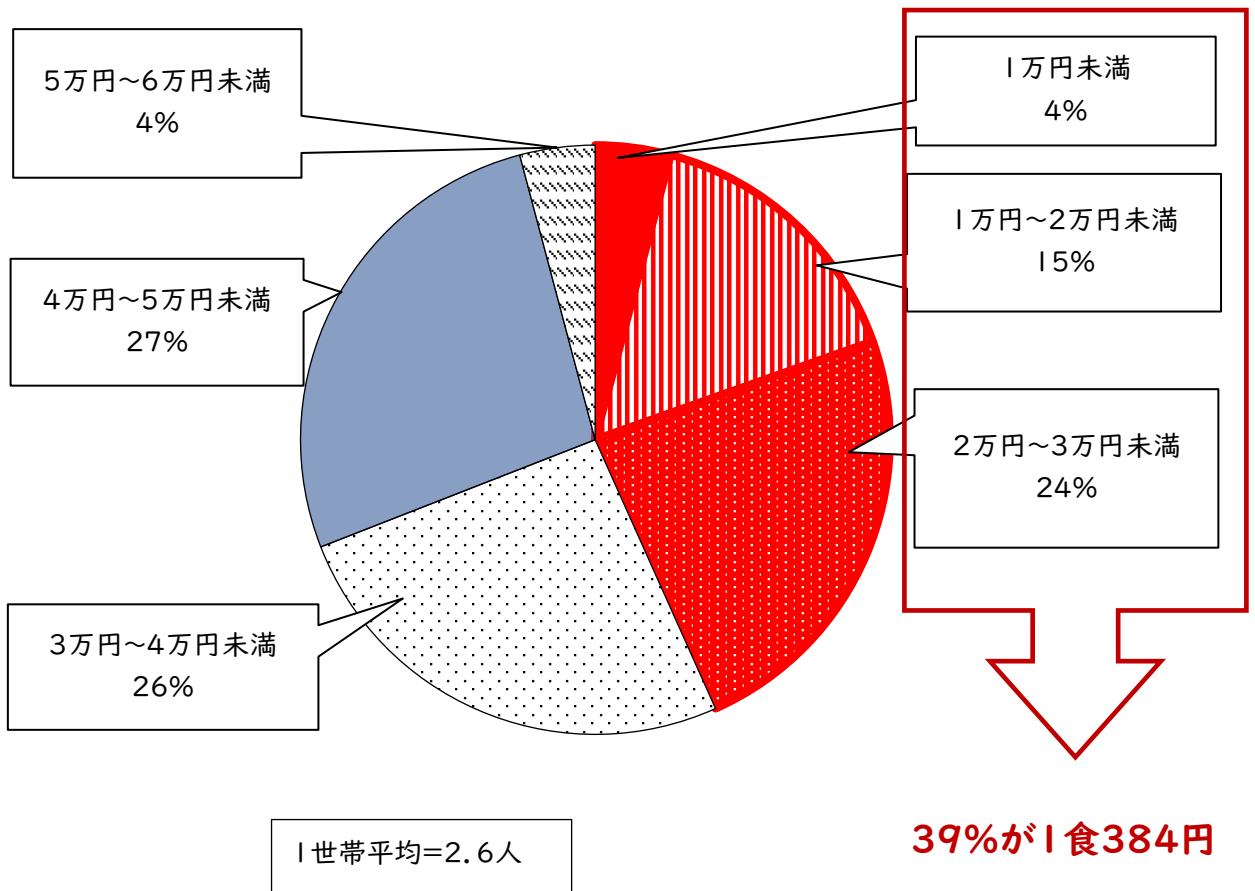
食品以外(回答数 402)



6. ここ 3 か月の平均で、1 か月間の食費に係る金額(回答数 107)

39%が、1 世帯・月 3 万円未満の食費=1日千円以下。

平均世帯人数(2.6人)で割ると、一人一日当たりの食費が384円以下の人が約4割(39%)を占めている。

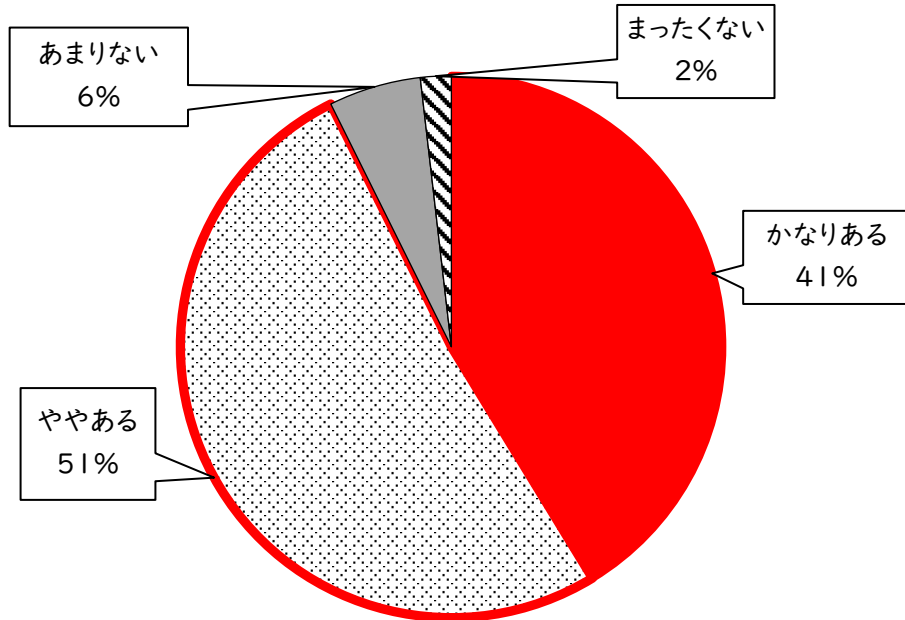




コロナ禍での物価高騰

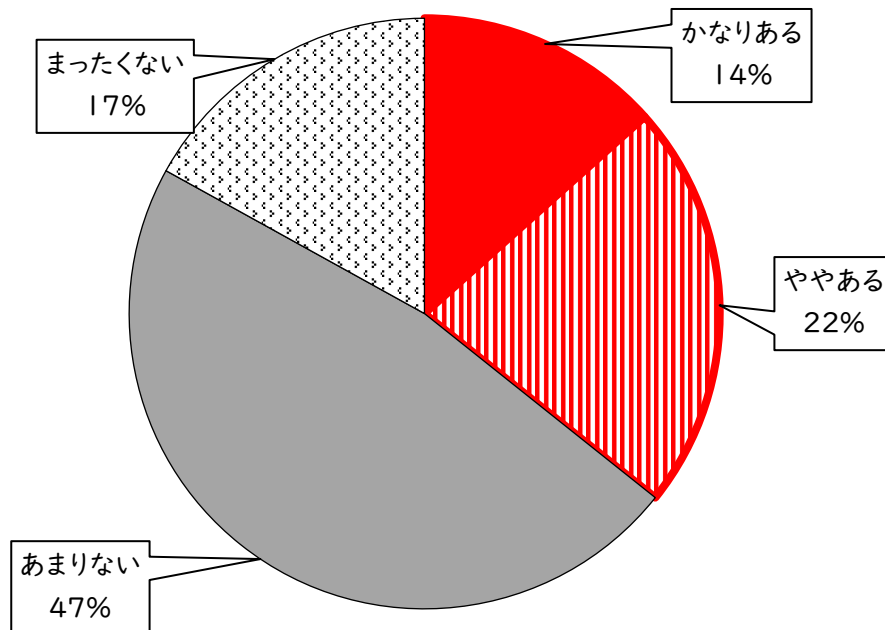
7-1. ここ3か月間、節約のために食費を削ることを余儀なくされたことがあるか。
(回答数 109)

92%が食費を削らざるを得ない状況。かなりある 41%、ややある 51%



7-2. ここ3か月間、節約のために食事の回数を減らすことを余儀なくされたことがあるか。(回答数 112)

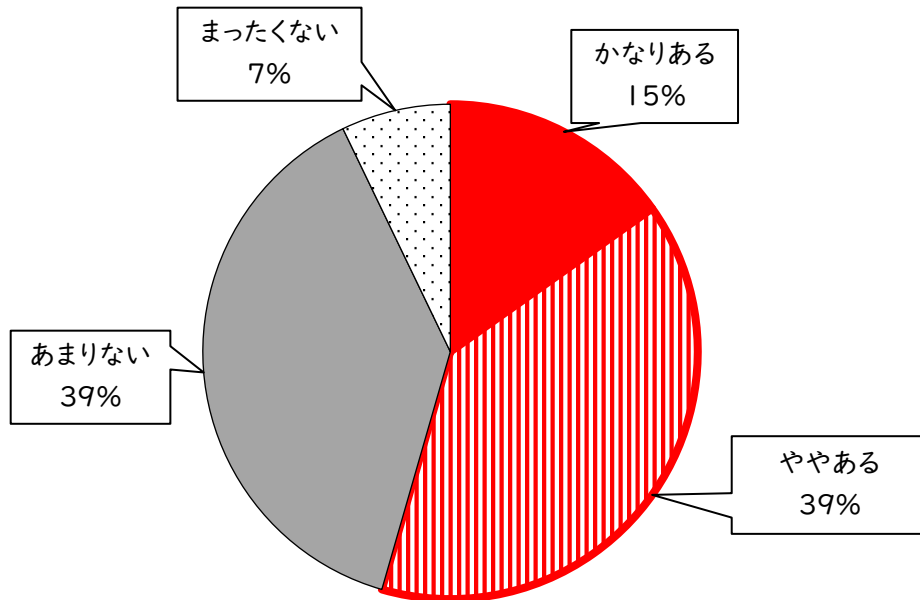
36%が食事の回数を減らしている。「子供には食べさせているが自分は回数を減らしている」





7-3. ここ3か月間、節約のために一回あたりの食事の量を減らすことを余儀なくされたことがあるか。(回答数 112)

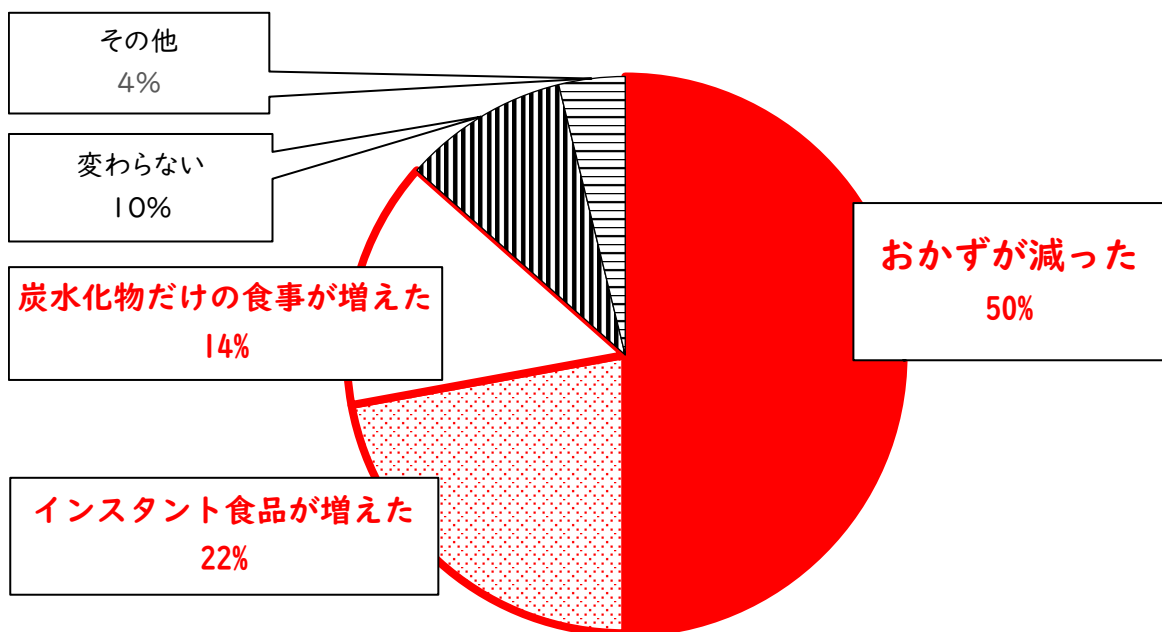
54%が食事の量を減らしている



7-4. ここ3か月間、節約のために食事の内容について変化があったか。

(回答数 104)

86%が影響を受けた。「おかずが減った」50%、「炭水化物だけの食事が増えた」14%、「インスタント食品が増えた」22%。「お米の量を減らし、お茶づけの日が増えた。」





8. その他、困っていること、要望など自由記述（抜粋）

- ・子供は食べ盛りなので自分の分を減らしたりしてます食糧支援、本当に助かってます。
- ・子供が成長期なので、食事も気をつけて困っている。
- ・食べ盛りが 2 名います。お肉など、きっと成長期には満たされない量のおかずになったり、野菜を我慢したり。お米の減りが早い、生理用品もかかるので、前回お米と生理用品はとても助かりました。
- ・いろんな物や料金が高くなり、食を減らすなどが困る。ガソリンなども入れたいが入れられない。
- ・コロナ禍で保育園が休園になり仕事を休まなきゃいけなくなり、収入がへってしまうこと
- ・支払いに困っている
- ・物価高騰で生活が大変です。
- ・自由に使えるお金が減ったことで、生活に余裕がなくなりつつある。
- ・仕事の継続と日常生活費、大学までの子供の教育費
- ・食べ物を買うのも値上がりしていて買うのをためらうことが増えてしまった。
- ・米を使う量が減った
- ・食品は値下げ商品を見つけて購入しているが、賞味期限がその日限りだったり日持ちできない。
- ・野菜の価格が高くなって買う回数が減り、野菜不足の心配が増えました。

食品以外

- ・学校(中学生)指定のものがあり、金額もそれなりにするのでお下がりがあればいいです。
- ・小中学校のジャージが高い
- ・子供の靴や洋服が欲しい時がある。
- ・生活用品のストックが出来ない。
- ・洗剤なども絶対必要なので高くて困ってます。
- ・食料も必要だがトイレトペーパーや洗剤なども高くなり困る
- ・生理用品が足りなくて困っています
- ・生理用品を夜用以外の物も支援していただけると大変助かります。ティッシュやトイレトペーパーの消耗品も高騰しているのでご支援いただけると嬉しいです。
- ・高校生はお弁当も持って行くので、かなり食費がかかりますし、女の子なので毎月のナプキン代もかさみ大変です。住民税を年間 10,300 円払うだけで、コロナ特別給付にも該当しなくて大変です
- ・ガソリン等の値上げによりどこかにかかる事が少なくなった
- ・フードバンクイベントを頻繁に行ってほしい。
- ・今日は本当にありがとうございました。遠かったのですが来てよかったです。



- ・近くに安く売っているスーパーが無い。

学生の声

- ・研究活動をおこなわないといけない為 アルバイトができない。その為生活に余裕がない。
- ・大学での学費が免除にならず、生活が苦しい。
- ・コロナ禍前から収入が減っていたのですが、コロナの影響で更に生活状況が苦しいです。また、大学の実習が始まり、その期間中はアルバイトも禁止となるのでアルバイト収入が半年得られなくなるので、今後の生活が更に不安です。
- ・研究を行いたいが、お金の問題でアルバイトを多く入らないといけなく、満足な研究が行えていない。
- ・フードバンクがあってよかった。夫婦でも生活苦しい。毎月赤字。留学生の夫のスカラシップで生活している。妻はアルバイト少し。日本語わからないので、はじめて来た。また声をかけて欲しい。(スタッフ聞き取り、代筆)
- ・As a student I have some problems of my income. So this program is a good support for me. Thank you so much. (学生なので、収入が少ないのが課題です。この食料支援は私にとってありがたいです。感謝しています。)

以上



資料

チラシ

アンケート票

会場配布の様子



第8回つながるスマイルプロジェクト

物価高騰の今こそ、 フードバンクで支えあおう

フードバンク山梨はコロナ禍や物価高騰の影響を受けた方に
無料で食品をお配りします。

2022年9月17日(土)～21日(水)

会場ごとに日時が異なります

以下の①と②の両方を満たす世帯が対象です

- ① 2022年にフードバンク山梨を**利用していない**世帯
(フードバンクこども支援プロジェクト、乳幼児応援プロジェクト、定期的な食支援)
- ② 山梨県内在住で、コロナ禍や物価高騰の影響を受けて食品を必要とする世帯
(例:就学援助【準要保護】、児童扶養手当、総合支援資金、緊急小口資金、教育支援金、
住宅確保給付金、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金など)

申込締切：9月4日(日)まで

申込方法:右のQRコードからお申込ください

※スマホをお持ちでないなど申込困難の場合はご連絡ください



- *事前申し込み制です。
- *上記QRコードで必要事項・配付会場(裏面)と時間を選択し、当日会場で食品を受け取ります。
- *食品写真はイメージです。

熱中症にも注意した感染対策のお願い

- ・マスク着用
- ・「三つの密」を避ける
- ・体調が悪い場合は来場を控える



認定NPO法人フードバンク山梨
〒400-0214 南アルプス市百々3697-2 TEL: 055-298-4844





学生支援

第8回つながるスマイルプロジェクト

物価高騰の今こそ、 フードバンクで支えあおう

フードバンク山梨はコロナ禍や物価高騰の影響を受けた学生に
無料で食品をお配りします。

2022年9月17日(土)～21日(水)

会場ごとに日時が異なります

支援対象：山梨県内在住で、コロナ禍や物価高騰の影響を受けた学生

学生：大学院・大学・短期大学・専門学校など
(例：大学の授業料納付猶予・延納や大学独自の授業料等減免等、独立行政法人
日本学生支援機構の給付型奨学金、高等教育の修学支援新制度など)

申込締切：9月4日(日)まで

申込方法：右のQRコードからお申込ください

※スマホをお持ちでないなど申込困難の場合はご連絡ください



*事前申し込み制です。
*上記QRコードで必要事項・配付会場(裏面)と時間を選択し、当日会場で食品を受け取ります。
*食品写真はイメージです。

熱中症にも注意した感染対策のお願い

- ・マスク着用
- ・「三つの密」を避ける
- ・体調が悪い場合は来場を控える



認定NPO法人フードバンク山梨
〒400-0214 南アルプス市百々3697-2 TEL：055-298-4844





事前申込制 配布会場一覧（会場ごとに日時が異なります）

お願い 当日、予約時間に遅れる、来れなくなったなどの場合は、必ず実施団体まで連絡をお願いします

実施団体	日時(時間厳守)	会場名 所在地
地域総合子ども家庭 支援センター・テラ	9月17日(土) 10:00~16:00	山梨立正光生園 母子生活支援施設 電話:055-222-8012(前島様) 〒400-0856 甲府市伊勢4-39-19
NPO法人 こどもサポートやまなし	9月17日(土) 10:00~16:00	事務所 電話:090-8031-9608(木村様) 〒400-0034 甲府市宝2-1-5
よりそい北杜	9月17日(土) 10:00~16:00	甲斐駒センターせせらぎ 第1会議室 電話:090-2736-7241(寺下様) 〒408-0302 北杜市武川町牧原1243
認定NPO法人 フードバンク山梨	9月17日(土) 10:00~16:00	百々事務所 電話:090-6171-9498(河野) 〒400-0214 南アルプス市百々3697-2
特例認定NPO法人 富士の緑とフードサ ポート	9月17日(土) 10:00~14:00	ミズホ精密株式会社(下吉田駅近く) 電話:0555-25-7161(早川様) 〒403-0019 富士吉田市新町2-11-7
協力団体 ふじざくら	9月17日(土) 16:00~18:00	海鮮居酒屋あぶり亭 電話:0555-72-6340(倉沢様) 〒401-0301 富士河口湖町船津3371
NPO法人 ぐんないや-織syoku-	9月19日(祝) 10:00~16:00	曹洞宗 種月山 耕雲院 電話:0554-43-2593(河口様) 〒402-0035 都留市夏狩1884
NPO法人 にららん♪	9月21日(水) 17:00~18:00	にららん本町の家 電話:090-3068-8479(内藤様) 〒407-0024 韮崎市本町4-3-7





2022年9月実施

第8回つながるスマイルプロジェクトアンケート

認定 NPO 法人フードバンク山梨

このアンケートは、コロナ禍での物価高騰における現在の状況をお伺いし、今後の支援につなげることを目的としています。個人が特定されないようにして、報告書にとりまとめます。ご協力をお願いいたします。

ご記入に当たってのお願い

- このアンケートは無記名です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- ご回答は、質問番号の順に回答欄の当てはまる所に○、または内容を具体的にご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、**会場のスタッフに渡してください。**
(または、2022年9月28日までに右のQRコードをスマホで読み取り、表示されたサイトからご回答いただけます。)



お問い合わせ先: 認定 NPO 法人フードバンク山梨 電話 055-298-4844

ここから質問です

① 現在の家族構成についてお聞かせください。(○はひとつ)

- a. ひとり親世帯 b. ふたり親世帯 c. 単身世帯 d. その他
(_____)

② 同居しているご家族の人数を教えてください。(あなたも含みます)

 人

② 回答されている方の雇用形態を教えてください。(あてはまるものに○)

- a. 正規雇用 b. 非正規雇用(契約、派遣など) c. 自営業 d. 家族経営に従事
e. 専業主婦 f. その他(_____)

③ 生活が苦しくなったのはいつからでしょうか。(○はひとつ)

- a. 2019年(コロナ禍前) b. 2020年(コロナ禍) c. 2021年10月頃(物価高騰)
d. その他(_____)



④ ここ 3 か月の平均で、1 か月間の世帯収入金額（手取り額）はおおよそいくらでしょう。

円

⑤ 2021 年 10 月以降、食品や生活必需品などが値上がりしています。値上がりしている物の中で、あなたの生活に影響している物を教えてください。（該当するものすべてに○）

- お米 食パン 即席めん ゆでうどん 小麦粉 牛乳 チーズ 豆腐
- 牛肉 食用油 マーガリン マヨネーズ しょう油 みそ かまぼこ まぐろ
- 缶詰 バター お菓子 レギュラーコーヒー 冷凍食品 野菜
- その他の食品（）
- 電気代 ガス料金 水道料金 ガソリン 灯油 トイレtpペーパー
- その他（）

⑥ ここ 3 か月の平均で、1 カ月の世帯全体の食費をお聞かせください。

円

⑦-1 コロナ禍での物価高騰において、ここ 3 か月間、節約のために食費を削ることを余儀なくされたことはありますか。（○はひとつ）

- a. かなりある b. ややある c. あまりない d. まったくない

⑦-2 コロナ禍での物価高騰において、ここ 3 か月間、節約のために食事の回数を減らすことを余儀なくされたことはありますか。（○はひとつ）

- a. かなりある b. ややある c. あまりない d. まったくない

⑦-3 コロナ禍での物価高騰において、ここ 3 か月間、節約のために一回あたりの食事の量を減らすことを余儀なくされたことはありますか。（○はひとつ）

- a. かなりある b. ややある c. あまりない d. まったくない



⑦-4 コロナ禍での物価高騰において、ここ3か月間、節約のために食事の内容について変化はありましたか。(○はひとつ)

- a. 炭水化物だけの食事が増えた b. おかずが減った c. インスタント食品が増えた
d. 変わらない e. その他(_____)

⑧ その他、困っていること、要望などありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。



配布会場の様子





協力団体ふじざくら 39世帯



フードバンク山梨 24世帯

